



全国RYLA研究会報告

国際ロータリー第2510地区

第2510地区RYLA委員会 委員長

全国RYLA研究会実行委員会 幹事

齊藤 朋博
(札幌南RC)

2023年5月20日から21日に札幌南RCをホストクラブとし、札幌グランドホテルで第15回全国RYLA研究会が開催されました。ハイブリットで216名にご参加頂きました。毎年開催されている全国RYLA研究会では、各地区から集まったRYLA関係者が講演やディスカッションで情報を共有しながら、学びを深める形式となっております。今回は大会会長の佐藤芳郎RI理事を筆頭に、三木明RI財団管理委員、安行英文第2680地区ガバナーエレクト、黒田建一RIJYEM危機管理委員、田中賢一第2680地区危機管理副委員長、我が第2510地区からは羽部大仁パストガバナーにご講演頂きました。

1日目の基調講演では、三木明RI財団管理委員より「ロータリーにおけるRYLAの役割」と題し、ロータリークラブがRYLAを行う事で得られる青少年奉仕の効果についてお話頂きました。また特別講演では、安行英文第2680地区ガバナーエレクトから「RYLAの意義と運営」と題し、RYLAの目的や手段、カウンセラーシステムやプログラムに関する基本要素から、青少年にもたらす影響についてお話頂きました。



その後、津留起夫RIJYEM事務統括、黒田建一氏、田中賢一氏の運営で全国青少年奉仕委員長会議が開催し、全国RYLA研究会の規約概要の説明、運営委員会役員を選任、運営委員と地区RYLA委員長合同会議の開催、次年度次々年度開催地区について議決されました。

本会議終了後、札幌ビール園で懇親会を開催し、121名の参加者と情報交換をしながらジンギスカンとビールで親睦を深めました。



2日目はRYLAの課題、カウンセラーシステム、学友会という3つの研究テーマとする分科会にわけて、講演とディスカッションを行い、それぞれ安行英文氏、黒田建一氏、田中賢一氏にご担当頂き、活発な意見交換が行われました。最後の講演として、黒田建一氏に青少年奉仕で気を付けなければならない危機管理についてお話頂きました。

全国RYLA研究会を無事開催できたことは、大会会長の佐藤芳郎RI理事、三木明RI財団管理委員をはじめ大会役員の皆様、日々ご指導頂いた実行委員会の皆様、RIJYEM、ホストクラブを務めて頂いた札幌南RCの皆様、石丸修太郎ガバナー、松浦光紀ガバナーエレクト、出村知佳子ガバナーノミニー、羽部大仁パストガバナー、福井敬悟パストガバナーはじめ第2510地区の皆様、ガバナー事務所のご協力によるものでございます。心から感謝申し上げます、ご報告と致します。